



輝け！北っ子！

「熱中症」と「マスク着用」 ～自己管理能力を育成する～

このところ、暑い日が続いています。20日付で「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策と学校の対応について」という文書を出させていただきました。大きな変更は

熱中症のリスクを鑑み、マスクを外す指導をします ということです。

具体的には**体育、登下校、休み時間（屋外）、その他熱中症の危険が予想される場合**にはマスク

を外す指導をするということですが、昨日、今日と子どもたちの様子を見ているとマスクをすることが習慣になっていて、暑くてもなかなか自分からは外さない子も多く見受けられます。今回の変更は「熱中症のリスク」が「新型コロナウイルスへの感染のリスク」を上回ったという見方ができるのではと私は思っています。

学校では、3密の回避や換気など基本的感染対策をした上で、体育等、熱中症のリスクが高い活動の場合にはマスクを外すように指導していきます。また、同時にマスク着用にあたっては、基礎疾患や高齢者との同居など個人個人で状況や対応、考え方も違ってきますので、マスク着用について誹謗中傷につながるような言動は慎むように指導しました。

マスクの着用は、一律に強制して行うものではありません。どうぞ、ご家庭において子どもたちと「マスクの着用」について話し合いを行い、「自分の命は自分で守る」「他の人の命を脅かさない」観点から自分でしっかり判断して行動できるよう、自己管理能力の育成に向け子どもたちにお話しいただければと思います。

また、学校においては、子どもがマスク着用を望んでいる場合でも、熱中症の心配がある場合には、友達との距離をとり、マスクを外させることもあり得ることをご了承ください。



第1回学校評議員会 開催

～「開かれた学校づくり」にむけて～

学校評議員制度とは、学校教育法施行規則に定められた制度で、教育に関する理解及び識見を有する方を校長が推薦し、市の教育委員会から委嘱された方々で構成され、学校運営に関し意見を出していただくという役割を担っていただいております。学校の運営について保護者・地域住民の視点から広く意見をいただくことでより「開かれた学校づくり」を目指そうというものです。

今年度は以下の5名の方に評議員を担っていただいております。

- 加藤 純一 様 ○ 安部 玲子 様
- 鹿野 春美 様 ○ 石川 和彦 様
- 吉田 隆則 様

20日に第1回の学校評議員会を開催しました。委嘱状の公布後、学校経営の概要について説明させていただき、その後に授業参観、質疑・意見交換といった流れで会を進めました。「落ち着いた生活をしているようだ」「視力への影響から、タブレットやスマホの使用後は遠くを見るなどの指導をしてほしい。」「関わりを通して、主体的に学ぶ姿が見られるようになってきたことがうれしい。」「下校時に危険な場面も見られる。」等たくさんの意見・感想をいただきました。お世話になりました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

